指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1)	公の施設の名称	老人福祉センター 倉敷市まきび荘		
		所在地 倉敷市笹沖180		
(2)	指定管理者	名 称 社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団		
		代表者 理事長 山 﨑 要		
(3)	公の施設の所管部署	健康福祉部健康長寿課		
(4)	評価対象期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで		

2 総合評価結果

	・令和5年2月8日に実施した立入監査の結果、良		
	好な管理運営がなされていることが確認できた。	総合評価	
	・令和5年3月に実施したアンケート調査の結果、		
	現行の指定管理者は、利用者から好感を持って受け		
	入れられていることが確認できた。	s	
	・令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策と		
(1) 市の評価	して、引き続き、利用者の安全を第一に考え、マス		
	ク着用や三密回避等の基本的な感染対策に加え、入		
	館時の検温、利用者名簿作成、部屋の人数制限、共		
	有スペース・物品の消毒、大きな声を出す活動の制		
	限等に取り組んでいることは評価できる。		
	・以上の点から、評価対象期間において、社会福祉		
	法人倉敷市総合福祉事業団は適切に指定管理業務		
	を遂行したと判断する。		
	まきび荘では、地域の高齢者に対し、各種の相談に応じるとと		
	もに、学ぶ意欲に応じるための様々な講座の開講、併せて、創		
	作を楽しむ場を提供しました。		
 (2) 指定管理者の自己評価	各種相談等事業では、心身の健康の維持促進や疾病の予防、長		
	引くコロナ禍での不安や感染対策等について看護師から指		
	導・助言を行いました。		
	いきいき講座では「百歳体操」や「さわやか体操」を実施し、		
	健康に関心の高い地域の高齢者のニーズに応えました。		

レクリエーション事業では、七夕会・クリスマス会等などの催 しを実施し、四季を楽しみ仲間と交流する場としました。

また、老人クラブとの共同剪定作業、みその会との交流会を持つなど幅広い活動を行いました。

また今年度は新たに「手芸等ふれあい会」を実施し、不定期に 集い手作りを楽しむ場をつくったほか、講座や事業の実施回数 を増やすなど利用者増に向けて取り組みましたが、コロナ禍に よる利用控えの傾向からの十分な回復には至らず、1日あたり の利用者数は前年と比べ93.0%と減少しました。

今後も、地域の高齢者が明るく生きがいをもった生活が送れるよう、ニーズに沿った事業やサービスの充実に努めてまいります。

(3) アンケート結果の概要

アンケート調査の結果、利用者の満足度は、施設全体は86%、職員対応は96%、施設の衛生管理は90%以上、安全対策は90%となった。よって、現在の指定管理者は、多くの利用者から好感を持って受け入れられていることが分かった。

3 施設の利用状況

		利用者数			
(1) 利用者数		今年度	前年度	特記事項	
(1) 43/11 11 34		5,463人	3,840人		
	(1) センターの使用許可に関する事務				
	(2)	(2) センターの維持管理に関する業務			
	(3) 高齢者の生活、住宅、身上等に関する相談ならびに指導業務				
(2) 事業の内容	(4) 高齢者の疾病の予防、治療に関する相談ならびに指導業務				
	(5)	(5) 高齢者の生業および就労等の指導業務			
	(6) 高齢者の後退機能の回復訓練ならびに指導業務				
	(7)高齢者の教養の向上およびレクリエーション等の事業				
	(8)センターの利用者の利便性を向上させるために必要な業務				

4 収支(見込み)

(1) 収入	総額 市からの指定管理料	18,204千円 18,198千円
(指定管理者の収入)	その他の収入	6 千円
	総額	18,763千円
	主な支出 人件費	11,832千円
(2) 支出	光熱水費	2, 194千円
 (指定管理者の支出)	修繕料	4 千円
	業務委託費	5 4 0 千円
	その他	4,193千円